

上池袋図書館の大規模改修(概要)について

1 施設現況、工事期間

- ①所在地・開館・・・豊島区上池袋2-45-15（平成5年1月28日竣工、同7月20日開館）
- ②構造・規模・・・鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、延床面積1470.74㎡、敷地面積1018.23㎡
- ③工事予定期間・・・令和7年4月1日～8年3月31日（スケルトン改修） ※令和8年6月頃リニューアルオープン

2 改修概要（コンセプト：「みどりに囲まれたにぎやかな図書園」）

(1) 築後30年超経過した建物・設備の老朽化に対応することはもとより、サービス、機能等も大幅に見直し、本との出会い、知らない世界との出会い、人や仲間との出会いなど、訪れるたびに新しい何かと出会える図書館をめざす。

(2) 子どもから高齢者まで、読書が苦手な人や読書に課題を抱えている人も含め、あらゆる人の生涯学習の場、また居場所、交流の場として気軽に利用できる図書館とする。

①「静かに本を読む場所」という従来の図書館の発想を超え、1階を会話自由な「にぎわいのある図書スペース」、2階を読書・学習中心の「落ち着いた図書スペース」として区画することで、それぞれの目的に応じた快適な利用を可能とする。子どもや保護者が周囲に気兼ねなく利用できるよう、児童、ティーンズ(YA)コーナーを1階のにぎわいスペースに設ける。

②ゆったり過ごせるラウンジ席を含め、座席数を現行(74席)から2倍以上に拡充するほか、飲食できるリラックスペースも設け、居心地のよい空間を創出する。

③受験勉強などにも利用できる独立した自習スペースを設ける。仲間同士で話し合って学習ができるスペースも用意する。

④地階には、本や図書館を通じた得た知識や情報を創造的な活動につなげるため、3Dプリンターなどのデジタル機器を使ったものづくり体験ができるワークショップ(ファブ)スペースを設ける。

⑤カウンターに並ぶことなく、予約資料受取からリアルタイム返却まで可能な機能を導入する。(豊島区立図書館初)

⑥講座、映画会などを楽しみながら、地域の交流にもつなげるため、従前より拡大したホールを地下1階に設ける。

⑦旧国鉄電車区跡地に建ち、現在もJR車両基地に隣接する経緯から特色としている鉄道関連の資料・企画を充実する。

(3) 隣接の上池袋さくら公園とのつながりや図書館の開放感を高めるための整備を行う。館外には読書や催事が楽しめるテラスを設け、地域の憩いの場を創出する。

※休館期間(令和7年2月初旬～8年5月末予定)中、豊島清掃事務所2階に臨時窓口を設け、予約資料の受渡などのサービスを行う。(移送作業等による前後数日間除く。)



▲上池袋図書館キャラクター カミイ



▲車窓を感じる電車をモチーフとした閲覧席

時期、内容は変更となる場合があります。



外観(現況)



改修後イメージパース



明るく賑やかな内観イメージ、本と人の出会いが生まれる展示スペース



上池袋さくら公園の緑や周辺の住宅街の景観に馴染む外観イメージ